

第 26 回議会運営委員会会議記録

| | | | |
|-------------------------------|---------------------|---------------|-------------|
| 開 閉 会 日 時 | 令和 4 年 2 月 2 日 (水曜) | 午前 9 時 3 0 分 | 開会 |
| | 休 憩 10:13-30 | | |
| | | 午前 11 時 1 0 分 | 閉会 |
| 会 議 場 所 | 委員会室<オンライン出席 (O) > | | |
| 出 席 委 員 氏 名 | 委員長 中村 和宏 | 委員 渡辺洋一郎 (O) | |
| | 副委員長 正村紀美子 | 委員 黒田 栄継 | |
| | 委 員 鈴木 健充 | 委員 常通 直人 | |
| | 委 員 中田智恵子 | | 議長 早苗 豊 (O) |
| 欠 席 委 員 氏 名 | | | |
| 説 明 等 に 出 席 し た 者 の 氏 名 | | | |
| 事務局職員 | 事務局長 安田敦史 | 総務係長 佐藤史彦 | 総務係主査 上田瑞紀 |

『会議に付した事件と会議結果など』

1 開 会

- ・委員長が開会を告げ、当委員会はオンライン会議（議会委員会条例第 13 条の 2）である旨を説明し、オンライン出席委員（1 名）を報告した後、事務局から本日の委員会の日程を説明する。

2 議 件

(1) 調査事項

- ア 議会だより 2 月号について
- イ 議会だより 3 月号の編集企画について
- ウ 令和 4 年度議員研修計画案について
- エ 議員の定数と報酬のあり方について
- オ 12 月定例会議の振り返りについて

当日資料 1

資料 2

資料 3

資料 4

資料 5

3 その他

- (1) 次回委員会の開催日程（予定）について
- (2) その他

2 議 件

- ア 議会だより 2 月号について

当日資料 1

- ・渡辺委員：資料説明（2 月 10 日発行。2 ページ編集、2 月 3 日校了）。芽室高校との意見交換会を踏まえて反映可能な個所は取り組む。
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：提案通りで決定する。

イ 議会だより 3月号の編集企画について 資料 2

- ・ 渡辺委員：資料説明（8ページ編集）
- ・ 委員長：意見・質疑はないか？
- ・ （意見・質疑なし）
- ・ 委員長：提案通りで決定する。

ウ 令和4年度議員研修計画案について 資料 3

- ・ 事務局長：資料説明＜第9回全員協議会（1月20日開催）での情報共有を踏まえ、その後、議員からの研修要望として「住民参加」のテーマの要望があったことの報告と、今後は議運一任の了解があった研修計画案を先方と協議・確定する手順を確認し、本日は、3つの案（自治体DX、住民参加、広報力向上）について協議する旨の説明＞。
- ・ 委員長：意見・質疑はないか？
- ・ （意見・質疑なし）
- ・ 委員長：正式に決定していない部分もあるが、引き続き事務レベルで協議を進めて詳細を詰めていくことにする。併せて、次回全員協議会で情報共有を図る。

エ 議員の定数と報酬のあり方について 資料 4

- ・ 事務局長：資料説明＜資料4-1及び4-2：第9回全員協議会（1月20日開催）における意見を踏まえて整理した「検討スケジュール」及び「検討手順」の協議、議会改革諮問会議との関連について確認の旨説明＞。
- ・ 委員長：改正後の「スケジュール」について、意見・質疑はないか？
- ・ （意見・質疑なし）
- ・ 委員長：「分科会」について、意見・質疑はないか？
- ・ 正村副委員長：前回の全員協議会で意見があったように、今件の検討は、全議員で共有・協議していく手法が必要かつ適当と考える。公式・非公式の是非については、議運として共通認識を図るべく、この場で議論すべきと考えるので、各委員の意見を伺いたい。
- ・ 常通委員：公式が適当と考える。庁舎に集まる方式であれば、（自宅から庁舎までの）移動も発生することから、公式が適当と考える。
- ・ 黒田委員：資料に記載した非公式の考え方を確認したい。
- ・ 事務局長：前回の全員協議会では、ミーティングのようなイメージを示されていたため、「非公式」と位置付けた提案としたところである。
- ・ 黒田委員：理解した。自由度を持たせた会議として、非公式の提案趣旨は理解した。
- ・ 正村委員：資料4-2のスケジュールを見ると、「分科会」は、議運と全協の橋渡しとなっている。議論の自由度もありながら、日程の拘束性もある。また、コロナ対策を鑑みるとオンラインが想定され、ホスト役の負担等も考えると全員協議会におけるブレイクアウトとして、公式の位置付けが望ましいと考える。
- ・ 常通委員：議論のテーマはグループごとに一任か？それとも共通事項か？

- ・事務局長：議運で議論した内容について、会議録を基に、議運のメンバーがチーフとなり、全グループ共通事項を議論するイメージである。
- ・鈴木委員：スケジュールでは、分科会の開催は、2月以降半年の間に10回以上を予定されている。グループごとに議論の進捗度に差が出る懸念もある。その調整はどのように考えるか？
- ・事務局長：毎回、足並みを揃えた議論となるように、都度、各グループの進捗状況を調整し、取り進めていくよう考えている。
- ・委員長：他に意見はないか？
- ・中田委員：分科会の役割は、勉強会のイメージも含まれることを期待する。期数の多い議員からの意見を聴き、知識を会得する機会もあると、議会全体として検討の奥行が出て、議論の意義も深まると考える。また、分科会の日程は、全員協議会等に合わせるなどし、効率性にも配慮すべきと考える。
- ・渡辺委員：委員各位の御意見のとおり、分科会は、公式な位置付けが望ましいと考える。
- ・正村委員：この内容については、次回予定の全員協議会で共通認識を図るべきと考えるが、今後のスケジュールはどのように考えるか？
- ・委員長：本日出された意見を整理し、次回議運（2月9日）で改めて協議し、決定内容を基に次回の全員協議会に臨むこととしたい。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）

オ 12月定例会議の振り返りについて 資料5

- ・鈴木委員：資料説明（総務経済常任委員会「12月定例会議振り返り事項」の「1」～「3」の説明）
- ・委員長：「1 通学道路の安全策について」意見・質疑はないか？
- ・委員長：総務経済常任委員会で、必要に応じて調査することとしたい。異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・委員長：「2 子どもの貧困対策について」意見・質疑はないか？
- ・委員長：厚生文教常任委員会における調査の提案があるがいかがか？
- ・渡辺委員：委員会内で情報共有し、取扱いを協議したい。
- ・委員長：異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・委員長：「3 議会資料のペーパーレス化について」意見・質疑はないか？
- ・常通委員：事務局として人員減による負担の実態はいかがか？確認したい。
- ・総務係主査：議案等の準備は町長部局であり、人員減による直接的な事務負担はさほど大きいものではないと感じている。
- ・委員長：ペーパーレス化の推進に関する意見は、今後も引き続き、共通意識を持ちながら取り組んでいくこととしたい。いかがか？
- ・（異議なし）

3 その他

(1) 次回の委員会開催日程について

令和4年2月9日(水) 9時30分から

(2) その他

- ・委員長：委員から「その他」はないか？
- ・正村副委員長：「PTAとの意見交換会」及び「白樺高校との連携事業」は、今年度は、先日の「まん延防止等重点措置の適用」の影響で、実質中止となった。については、各事業の締め括りと総括をし、併せて、次年度の事業構想も検討しておくべきと考える。今年度の事業は、担当制により事業実施していることから、それぞれに事業の完結と展望について、取組みを進めることを共通認識として決定したい。
- ・鈴木委員：PTAとの意見交換会については、3校(南小、芽小、西中)が中止となったが、今後の対応を個々に協議するのか？足並みを揃えて方針を決定するのか？
- ・委員長：両常任委員長の意見はいかがか？書面による意見聴取も過去に実績があるが、この手法を加味した上で、意見を伺いたい。
- ・鈴木委員：実施できた意見交換会は有効であった。学校側の意思を改めて確認し、それを尊重し検討していきたい。
- ・渡辺委員：中村委員長と鈴木委員長と相談し決定したい。
- ・正村副委員長：この時期(年度末を迎える)に、新たな調整業務による負担を学校に強いることになりかねない要素もある。この場で、事業の締め括り方を明確に結論付けるべきではないか？
- ・常通委員：中止の決定が得策と考える。書面による意見交換会の手法は、今年度は念頭に置かず、議運としても、仮にこの時期から改めて学校からの意見聴取の項目を検討するにも時間的に厳しいスケジュールとなる。
- ・鈴木委員：現時点で延期としている学校にあっては、PTAからの意見をすでに集約しているところもあるやに聞く。それ故に、学校の意思(書面意見交換の希望等)を確認してから、議会の方針を決定してはいかがか？
- ・渡辺委員：鈴木委員と同様に学校側に確認後、議会の方針を決定すべきと考える。
- ・常通委員：各学校を担当しているリーダーに委ねて、議会としての方針の決定となることで是とする。
- ・委員長：他にないか？なければ、3者(議運委員長、両常任委員長)で協議をし、決定する。
- ・委員長：他に「その他」で委員からないか？
- ・常通委員：芽室高校と白樺高校との事業の担当として、今年度事業が完結となったことから、今後の対応について情報共有したい。芽室高校には2月号議会日より完成後に持参か送付をし、次年度以降の取組みについて協議する予定である。また、白樺高校にあっては、1学年対象の議会体験(フィールドワーク)を「事前学習」のみで締め括ることになったので、今後、学校(担当教諭)と新年度に向けた事業実施のあり方(現在の1学年が2学年に進級後に継続事業とする等)を協議する予定である。

- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：議長からないか？
- ・（なし）
- ・委員長：事務局からないか？
- ・事務局長：1点、お諮りしたい。「その他資料1」のとおり、教育委員会から議長宛に議員1名の派遣要請があった。要旨としては、職業人講話授業として、2月24日に芽室中学校2年生を対象に15分程度の講話であり、芽室で生まれ芽室中学校出身という条件での議会議員の派遣である。議長の決裁事項ではあるが、この条件を満たす議員として、常通副議長の派遣をお諮りしたいが、いかがか？
- ・（異議なし）
- ・委員長：他にないか？
- ・（なし）
- ・委員長：以上をもって委員会を閉会する。

| | | | | | | | | |
|------|-----|----|-------|----|----|----|----|----|
| 傍聴者数 | 一般者 | 0名 | 報道関係者 | 0名 | 議員 | 0名 | 合計 | 0名 |
|------|-----|----|-------|----|----|----|----|----|

令和4年2月2日

議会運営委員会委員長 中村和宏